



最初に  
ご確認ください

**MM-BTUD11**

- 本体 ..... 1個
- ドライバ/CD-ROM ..... 1枚
- 取扱説明書(本書) ..... 1部
- 保証書 ..... 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社Webサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。  
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

**特長**

- パソコンのUSBポートに接続して、手軽にBluetoothワイヤレス環境を実現できます。
- Bluetooth対応のヘッドセット(当社製MM-BTMMH1/6など)と組み合わせることで、SkypeなどのIP電話や音声チャットが楽しめます。
- Bluetooth対応のステレオヘッドセット(当社製MM-BTSH2N/9など)と組み合わせると、パソコンの音楽が高音質で楽しめます。
- Bluetooth対応のマウスやキーボードにも対応しています。
- 高速で安定性が高い「Bluetooth Ver2.0+EDR」準拠です。
- 超コンパクトサイズで、装着したままでもじまじりません。

**安全にご使用いただくために**

- 内部に燃えやすいものや水などの液体がかかった場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店または弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと、火災や故障および感電事故の原因になります。
- 内部を開けますと、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対におやめください。また、内部を改造した場合の性能劣化については保証いたしません。
- 濡れた手で本製品を扱ってはいけません。感電の原因になります。

**ご注意**

- Bluetooth対応のヘッドホン/ヘッドセット/スピーカーなどの音楽・音声機器とマウス/キーボードなどを同時に接続し使用した場合、音楽や音声が入り遅れることがあります。
- 本製品およびソフトウェアを使用したことによる生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。
- 本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外のご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。
- 高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。
- 飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。
- ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。

**Bluetoothについて**

- 本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか、速やかに電波の発射を停止してください。

**良好な通信のために**

- 他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟む場合は、通信不能場合があります。
- Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻りに途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害が発生し、通信速度が低下したり接続不能になったりする場合があります。この場合は、使用しない機器の電源を切ってください。
- 無線機や放送局の近くに正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

**1.ソフトウェアのインストール**



**本製品をパソコンと接続する前に、まずドライバをインストールしてください。**

もしインストール前に接続してしまった場合は、表示されたウィンドウを閉じ、本書の手順にしたがってドライバをインストールしてください。

- 本製品は、USBハブではなく、パソコンのUSBポートへ直接接続してください。
- USBポートが複数ある場合、インストール時に接続したポートを使用してください。
- Bluetooth機能を既に搭載しているパソコンには本製品を接続しないでください。搭載済みのBluetooth機能も利用できなくなる恐れがあります。

①まず、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

Windows Vista/XPの場合  
[コンピュータの管理者]または同等の権限を持つユーザでログインしてください。

Windows 2000の場合  
[Administrator]または同じグループのユーザでログインしてください。

②添付のドライバ/CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入すると、以下のような画面が表示されますので、「インストール」をクリックします。  
※ユーザアカウント制御の画面で許可をクリックしてください。(Vistaの場合のみ)



③「OK」をクリックします。(※XPの場合のみ)



④「次へ」をクリックします。

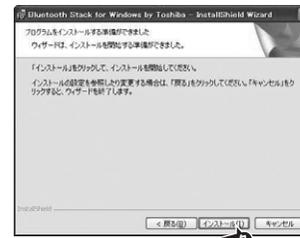


⑤画面の内容をよくお読みいただき、同意していただければ、「使用許諾契約の条項に同意します」にチェックを入れて、「次へ」をクリックしてください。



**ソフトウェアのインストール…つづき**

⑥「インストール」をクリックします。パソコンのスペックに依存しますが、インストールには15分程度かかる場合もあります。



※XPの場合のみ

⑦以下の画面が表示されたら、本製品をパソコンのUSBポートに接続し、「OK」をクリックしてください。



⑧「完了」をクリックします。



⑨「はい」をクリックしてパソコンを再起動させます。



⑩再起動後、デスクトップに以下のアイコンが表示されています。(※XPの場合のみ)



また、画面下のタスクトレイに表示されたBluetoothのアイコンを右クリックすると、各種設定メニューが表示されます。



他のBluetooth機器と通信して楽しむには

**2.ワイヤレスでIP電話や音声チャットを楽しむ! (例1)**

Bluetooth対応のヘッドセット(当社製MM-BTMMH1)を使ってワイヤレスでIP電話や音声チャットを楽しむための設定方法を説明いたします。



①タスクトレイのBluetoothアイコンを右クリックし、「Bluetooth設定」を選択します。  
※Bluetooth機器を初めて登録する場合は、③に進んでください。



②画面上の「新しい接続」をクリックしてください。



③MM-BTMMH1のボタンをLEDが青/赤交互に点滅するまで長押し(約9秒間)、探索可能な状態にします。



「カスタムモード」にチェックを入れ「次へ」をクリックしてください。

④機器が検出されたら、「次へ」をクリックしてください。



⑤バスキーを入力し、「OK」をクリックします。  
※MM-BTMMH1は0000を入力してください。



**A. Skypeと連携したヘッドセットとして使用する** ※Vistaの場合のみ

- ※ヘッドセットの着信ボタンでSkypeの着信を受け取ることができます。
- ※設定前にSkypeを起動してください。
- ※Skypeのみ対応となります。
- ※通常のヘッドセットとして使用する場合は①に進んでください。
- ※XPの場合は「ハンズフリー」は使用できません。①に進んでください。

- ⑥「ハンズフリー」を選択して「次へ」をクリックします。
- ⑦「VoIPアプリケーションと連携して使用する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



- ⑧「次へ」をクリックします。
- ⑨「完了」をクリックし、登録完了です。



## ワイヤレスでIP電話や音声チャットを楽しむ…つづき

⑩設定画面にMM-BTMH1（ハンズフリー）が登録され、自動的に接続されました。



右下のタスクトレイに Bluetooth のアイコンが表示され、Skypeとの連携が正常に行われました。

注) Bluetooth設定の画面上で接続になっていても右下のタスクトレイのアイコンが Bluetooth の時はSkypeと連携できていません。

- (i) Bluetooth設定の画面から接続を切断した後、タスクトレイのアイコンを右クリックし「無効」を選びます。
  - (ii) 再度アイコンを右クリックし「有効」を選んでください。
- ※何らかの理由で Bluetooth のアイコンが消えた場合は、右下のタスクトレイの Bluetooth アイコンを右クリックし「終了」をクリックして Bluetooth マネージャーを終了してください。再度「すべてのプログラム」→「Bluetooth」→「Bluetooth設定」で起動させると Bluetooth が表示されます。

### B.通常のヘッドセットとして使用する

①ヘッドセットを選択して「次へ」をクリックします。



②MM-BTMH1から音が聞こえたら、ボタンを押します。



③「次へ」をクリックしてください。



④「完了」をクリックし、登録完了です。



※②～④の登録作業は初回のみ必要です。

⑤設定画面にヘッドセットが登録されました。



⑬ワイヤレスで音声チャットやIP電話を楽しむには、アイコンをダブルクリックして接続してください。詳しくは「4.接続するには」を参照してください。

⑭ 両方 どちらも登録する場合は、同様に①～④の手順を行ってください。  
(※Vistaの場合のみ)

## 3.ワイヤレスで音楽やIP電話を楽しむ(例2)

Bluetooth対応のステレオヘッドセット(当社製MM-BTSH2N)を使ってワイヤレスで音楽またはIP電話を楽しむための設定方法を説明いたします。



①タスクトレイのBluetoothアイコンを右クリックし、「Bluetooth設定」を選択します。  
※Bluetooth機器を初めて登録する場合は、③に進んでください。



②画面上の「新しい接続」をクリックしてください。



③MM-BTSH2Nの ボタンをLEDが青/赤交互に点滅するまで長押し(約6秒間)し、登録する機器を探検可能な状態にします。



「カスタムモード」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。

④機器を検出されたら、「次へ」をクリックしてください。



⑤パスキーを入力し、「OK」をクリックします。  
※MM-BTSH2Nは0000を入力してください。



⑥ A.音楽を楽しむ  
「オーディオシンク」を選択して「次へ」をクリックします。



B.IP電話を楽しむ

前述「2.ワイヤレスでIP電話や音声チャットを楽しむ(例1)」の②～④を参考にしてください。



※ 両方 どちらの用途も登録する場合は、①～④の手順を再度行ってください。

## ワイヤレスで音楽やIP電話を楽しむ…つづき

⑦MM-BTSH2Nから音が聞こえたら、ボタンを押します。



⑧「次へ」をクリックしてください。



⑨「完了」をクリックし、登録終了です。



※②～③の登録作業は初回のみ必要です。

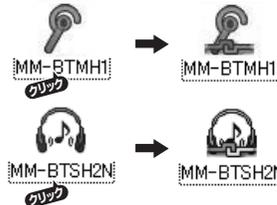
⑩設定画面にステレオヘッドホンまたはヘッドセットが登録されました。



⑪ワイヤレスで音楽やIP電話を楽しむには、アイコンをダブルクリックして接続してください。詳しくは「4.接続するには」を参照してください。

## 4.接続するには

使用する機器のアイコンをダブルクリックし、下図のようになれば使用可能です。



※Vistaの場合のみ「ハンズフリー」と「オーディオシンク」は同時接続が可能です。ただし右下のタスクトレイのアイコンが Bluetooth の時は同時接続できません。前述「2.ワイヤレスでIP電話や音声チャットを楽しむ(例1)」の②の注)を参考にしてください。

※機器により同時使用できない場合は、干渉する機器を「切断」してから目的の機器を接続してください。  
※名前やアイコンを変更するには、アイコンを右クリックして各項目を選んでください。

## 5.切断するには

アイコンを右クリックし、「切断」を選択してください。



## 6.各メニュー詳細(他のBluetooth機器との設定方法など)

その他、各メニューの詳細については、タスクトレイのBluetoothアイコン を右クリックし、「ヘルプ」を参照してください。



## 仕様

適合規格	Bluetooth Ver. 2.0+EDR
周波数範囲	2.4~2.4835GHz
伝送方式	FHSS
通信距離	約10m(使用環境によって異なります)
送信出力	Class2
通信速度	最大3Mbps(使用環境によって異なります)
電源	DC5V
対応プロファイル	DUN, FAX, LAP, SPP, HID, HCRP, FTP, OPP, HSP, HFP, PAN, BIP, A2DP, AVRCP, GAVDP ※Vistaの場合のみ
インターフェース	USB(Aタイプコネクタ)
対応機種	USB 1.1またはUSB 2.0のポートを持ち、下記のOSが動作する機種
対応OS	Windows Vista/XP/2000
サイズ	W16xD20xH8mm
質量	2g

## 保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態で使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間中でも無償修理になりません。
  - 保証書をご提示いただけない場合。
  - 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - 故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
  - 故障の原因がお客様のお客機による場合、移動中の衝撃による場合。
  - 天災地災、なすびごみや火災等やその他の外部要因による故障及び損傷。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 本製品使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じて弊社はいかなる責任も負いません。
- 修理で故障を報告、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- ドライバのダウンロード
- よくある質問(Q&A)
- 各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから ▼サポート&ダウンロードコーナーへ



ご質問、ご不明な点がございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

## サンワサプライ株式会社

2008.04現在

岡山サブライセンター 〒700-0825 岡山 市 田 町 1 - 1 0 - 1 ☎086-223-3311 FAX086-223-5123  
 東京サブライセンター 〒140-8556 東京都 品川 区 南 大 井 8 - 5 - 8 ☎03-5763-0011 FAX03-5763-0033  
 札幌営業所 〒060-0807 札幌市東区北7条東5丁目1-10 サンワグループセンター札幌 ☎11-811-3450 FAX011-716-8990  
 仙台営業所 〒983-0851 仙台市宮城野区権問1-6-37 宝来仙台ビル ☎022-257-4638 FAX022-257-4633  
 名古屋営業所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-6-7 アカヤマビル1F ☎052-453-2031 FAX052-453-2033  
 大阪営業所 〒538-0003 大阪市淀川区喜多4-1-45 大東大井千代ビル ☎06-6395-5310 FAX06-6395-5315  
 福岡営業所 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2-20 第2博多相互ビル ☎092-471-6721 FAX092-471-8078  
 金沢 ☎076-222-3884

08/04/KYDaNo